「カット案内ソフト」の使い方

1、自動板取ソフトの準備

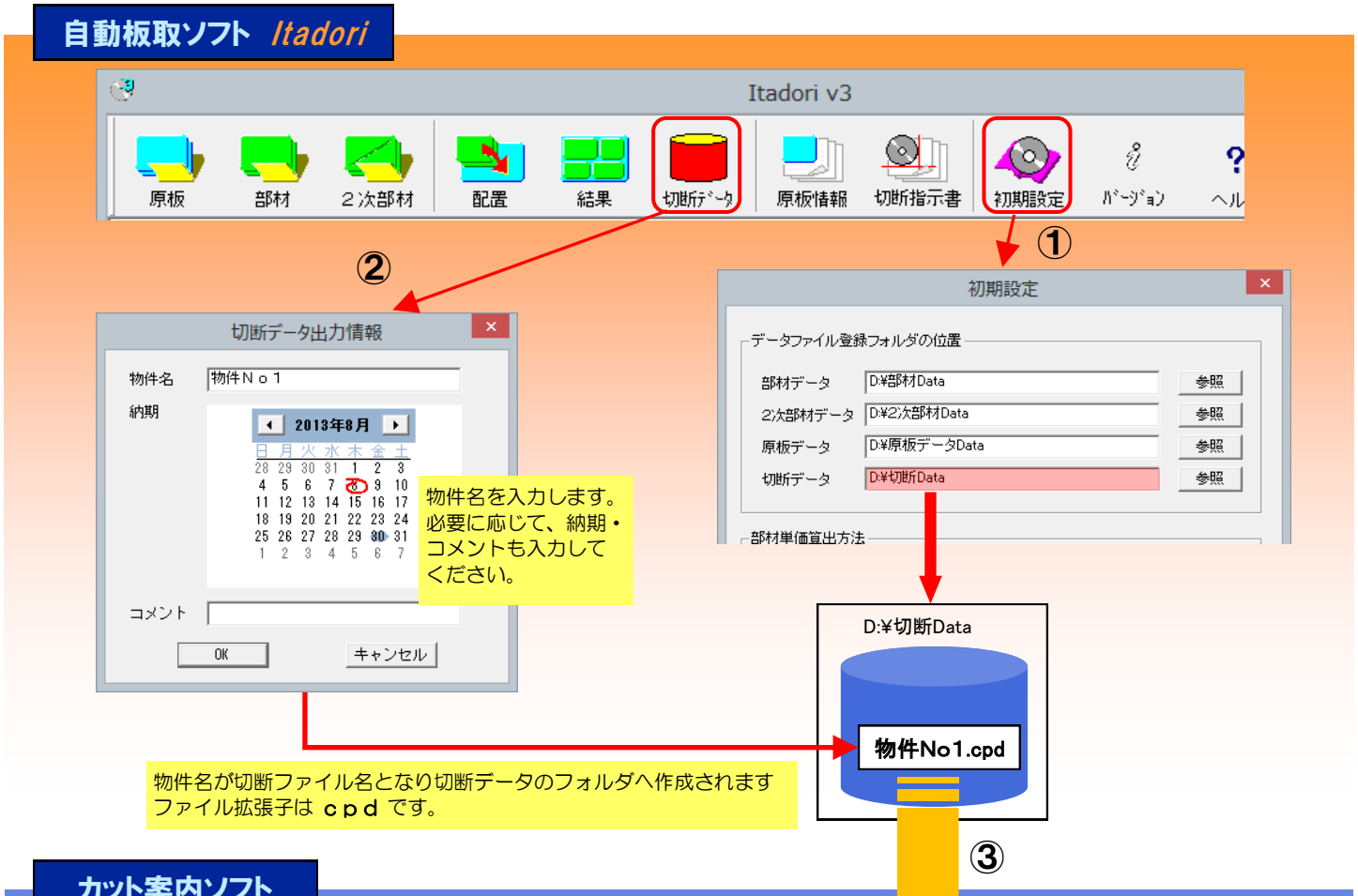
初期設定で切断データファイルの出力場所（フォルダ）を決めます。（下図①）

2、切断ファイルの出力

自動板取ソフトで配置計算を行った後、その結果を切断データファイルとして出力します。（下図②）
このとき切断データファイルが出力される場所は、１の初期設定で設定した場所になります。

3、切断ファイルのコピー

作成された切断データファイルをカット案内ソフトがインストールされているパソコンへコピーします。（下図③）



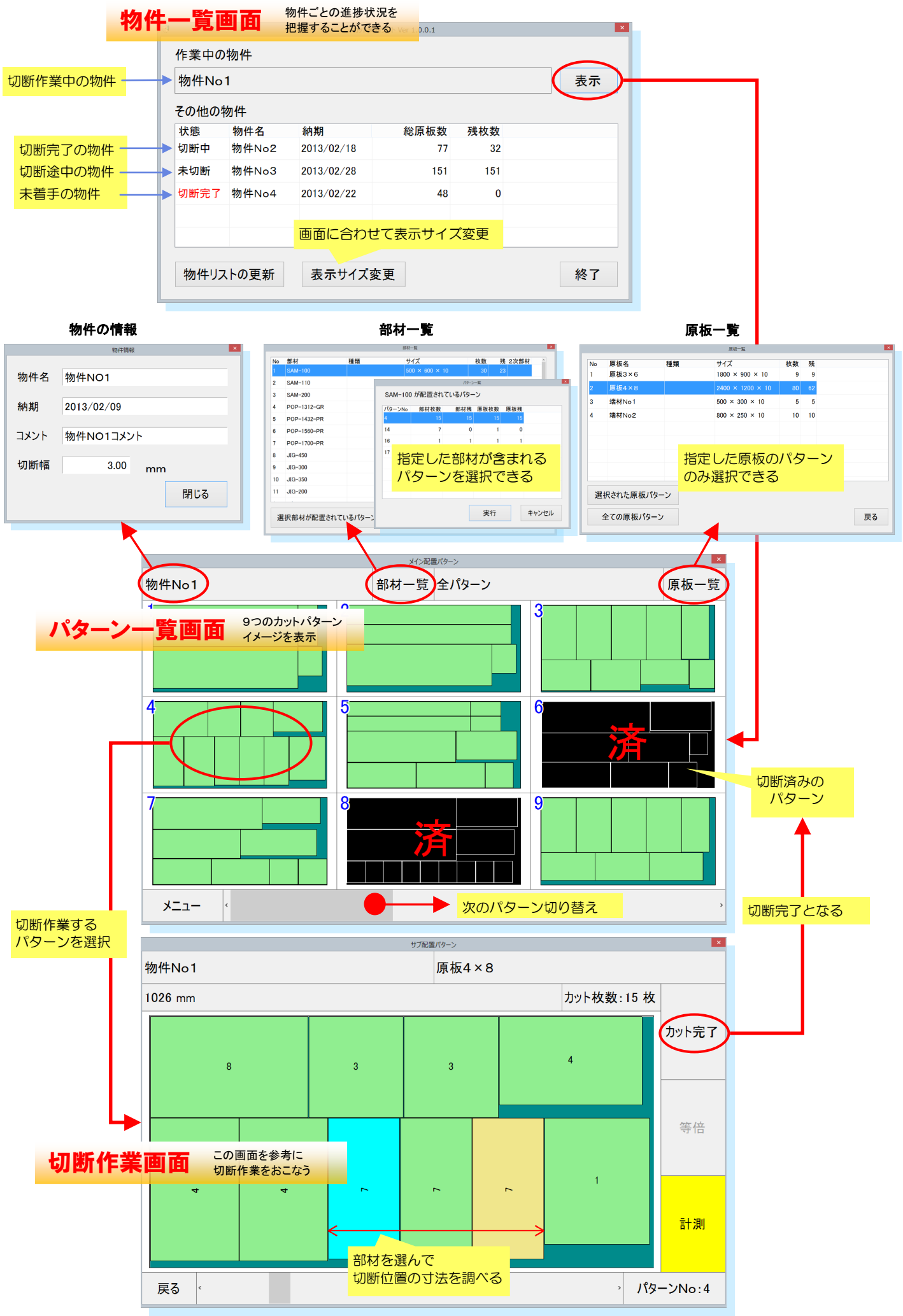
カット案内ソフト

4、カット案内ソフトによる作業

カット案内ソフトを実行すると、物件一覧画面に
コピーした物件が表示されます。
後は裏の説明に従って切断作業を行ってください。

「カット案内ソフト」の各機能説明は
うら面を参照してください

Godo System Machine Corporation.


物件一覧画面
物件ごとの進捗状況を
把握することができる
作業中の物件
切断作業中の物件
物件No1
表示
その他の物件
切断完了の物件
切断途中の物件
未着手の物件
状態 物件名 納期 総原板数 残枚数
切断中 物件No2 2013/02/18 77 32
未切断 物件No3 2013/02/28 151 151
切断完了 物件No4 2013/02/22 48 0
画面に合わせて表示サイズ変更
物件リストの更新
表示サイズ変更
終了
物件の情報
物件名 物件NO1
納期 2013/02/09
コメント 物件NO1コメント
切断幅 3.00 mm
閉じる
部材一覧
指定した部材が含まれる
パターンを選択できる
原板一覧
指定した原板のパターン
のみ選択できる
選択された原板パターン
全ての原板パターン
戻る
物件No1
部材一覧
全パターン
原板一覧
パターン一覧画面
9つのカットパターン
イメージを表示
済
切断済みの
パターン
メニュー
次のパターン切り替え
切断作業する
パターンを選択
切断完了となる
物件No1
原板4×8
1026 mm
カット枚数:15 枚
カット完了
等倍
計測
切断作業画面
この画面を参考に
切断作業をおこなう
部材を選んで
切断位置の寸法を調べる
戻る
パターンNo:4